

《二〇二〇年度 第四回試験 国語》解答例

一 問一 ① 導入 ② ひとすじ ③ 効(か) ④ 根絶 (2点×4)

問二 1 ウ 2 オ 3 イ 4 エ (2点×4)

問三 オ (4点)

問四 ア (4点)

問五 ○ 同じ交差点で事故が多発していた。

○ 無免許の高校生が車を運転していた。

○ 運転していたのが認知症の高齢者だった。

○ 事故を起こした車が自動運転車だった。(2点×4)

問六 目の前に歩行者が飛び出してきたとき、Aは歩行者を守るようにプログラムされるべきか、それとも搭乗者を最優先で守るように設計されるべきかという

問題。(8点)

問七 エ (4点)

問八 ウ (6点)

二 問一 ① ひたい ② 調整 ③ 綿毛 (2点×3)

問二 1 ウ 2 ア 3 エ (2点×3)

問三 A 今まで見ていた景色が一変したこと。(5点)

B さつきまで夢中に追いかけていた高校生が目の前に現れたこと。(5点)

問四 (1) 高校生に追いつくために必死に後についていった。(5点)

(2) 段差に足をとられ、落車した上にチェーンが外れ、後続の選手に追いぬかれた。(5点)

問五 ウ (4点)

問六 (1) 「アニキ」と出会う前は、自転車の性能のせいで負けたと思っていたが、負けたのは愛車を理解していなかった自分のうぬぼれが原因だったと思うようになった。(7点)

(2) 「アニキ」と出会う前は、いつもレースは真剣勝負でのぞむもので、勝たなければ意味がないと思っていたが、自分自身がレースを楽しむもうと考えるようになった。(7点)